

トライやるinみどり園

6月2日(月)～6月6日(金)

今年も、トライやるウィーク期間中、西脇市内の4名の中学生（西脇中学校2名、西脇南中学校2名）を受入しました。従来は収集作業の体験が主だったのですが、今年度は多様な分野のサポートに従事してもらいました。



- 1日目…オリエンテーション
収集作業（容器包装プラ）
- 2日目…収集作業（可燃ごみ）
不法投棄撤去作業
- 3日目…Rショップ業務
（石けんづくり）
- 4日目…ステーションパトロール
小学4年生施設見学サポート
- 5日目…ペットボトル圧縮作業
反省会

はじめての
仕事体験を通じて、
彼らは何を学び何を
感じとったのでしょうか？
みどり園に送られてきた
感想分を抜粋で
ご紹介します。

「トライやるに参加するまでは、みどり園での作業はごみの収集しか思いつかなかったけれど、他にもたくさんの仕事があるのがわかりました。リサイクルについては、特に重点的に取り組まれていました。リサイクルに対する考え方が変わりました」(南中2年M君)

「ごみの収集作業にしても、ペットボトルの圧縮にしても、実際やってみると、見ているときより数倍きついことがわかりました。リサイクルすることの大切さも少しわかりました」(南中2年F君)

「ごみを分別することが、リサイクルにつながることで実感できました。ごみの収集はたいへんだったけれど、市民の生活には欠かせないことだとわかりました。ステーションパトロールや廃油からの石けんづくりにも参加し、「もったいない」という感覚が生まれました」(西中2年S君)

「不法投棄の現場でタイヤやスチール缶、それにふとんまで見つけました。山の斜面にあったので、チームを組んで運びあげました。山が泣いているという言葉そのものでした。…ペットボトルを圧縮する作業が楽しかったです。…容器包装プラの収集は、軽かったけれど、可燃ごみの収集はたいへん重かったという印象を持ちました」(西中2年M君)